



平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年10月3日

上場会社名 株式会社 イズミ 上場取引所 東 大  
 コード番号 8273 URL http://www.izumi.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山西 泰明  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長 (氏名) 川西 正身 (TEL) 082(264)3211  
 四半期報告書提出予定日 平成24年10月15日 配当支払開始予定日 平成24年11月7日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 :  有・無  
 四半期決算説明会開催の有無 :  有・無 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第2四半期の連結業績 (平成24年3月1日～平成24年8月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	260,344	3.9	13,037	10.2	12,558	9.9	7,809	59.3
24年2月期第2四半期	250,462	1.7	11,832	15.6	11,422	18.1	4,901	1.8

(注) 包括利益 25年2月期第2四半期 7,980百万円 (6.7%) 24年2月期第2四半期 7,476百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第2四半期	97 81	—
24年2月期第2四半期	51 96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第2四半期	376,876	126,152	30.7
24年2月期	370,377	125,389	30.3

(参考) 自己資本 25年2月期第2四半期 115,646百万円 24年2月期 112,302百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	8 00	—	12 00	20 00
25年2月期	—	18 00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	18 00	36 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 :  有・無

3. 平成25年2月期の連結業績予想 (平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	533,600	3.4	28,100	15.9	27,200	15.6	16,500	49.1	209 23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 :  有・無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有・無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無  
② ①以外の会計方針の変更 : 有・無  
③ 会計上の見積りの変更 : 有・無  
④ 修正再表示 : 有・無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年2月期2Q	78,861,920株	24年2月期	95,273,420株
② 期末自己株式数	25年2月期2Q	3,168株	24年2月期	14,390,035株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年2月期2Q	79,840,859株	24年2月期2Q	94,334,955株

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、8ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) 平成25年2月期の個別業績予想 (平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	511,200	3.4	23,600	18.3	22,500	17.9	12,800	42.8	162 31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	6
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	8
(4) 配当予想に関する定性的情報	9
2. サマリー情報(その他)に関する事項	9
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	9
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	9
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	9
3. 四半期連結財務諸表	10
(1) 四半期連結貸借対照表	10
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	12
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	14
(4) 継続企業の前提に関する注記	15
(5) セグメント情報	15
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	16
(7) 重要な後発事象	16

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（以下、当第2四半期）のわが国経済は、海外経済の減速に伴う輸出停滞や復興需要が広がりを見せないことなどから、足踏み感が強まってまいりました。小売業界におきましては、消費税増税見直しにより消費者がより生活防衛的な姿勢を示す中、業態を超えた競争の激化や価格訴求強化の動きが強まるなど、数量・単価の両面で下落圧力が高まる対応の難しい状況が続きました。

当社グループにおいては、創業50周年の節目を迎えた前年度に続き、当年度を更なる飛躍を遂げる新たなスタートの年と位置づけており、今後の環境変化を展望しつつ、当社グループならではの独自の価値を創造する道筋を模索してまいりました。そして、ご提供する商品の品質・価格をお客様の視点で見直していくとともに、人材活性化によるサービスの向上に努めました。また、小商圏型業態の積極出店により企業成長を実現するべく、当該業態における収益性向上の取り組みと出店候補地の獲得を推し進めました。同時に、将来の一段の価格対応を見据えて、コスト構造の見直しと生産性の改善にも取り組みました。

これらの結果、営業成績は以下のとおりとなりました。

	前第2四半期 (H23年3月～H23年8月)	当第2四半期 (H24年3月～H24年8月)	増減（金額）	増減（率）
営業収益	250,462百万円	260,344百万円	9,882百万円	3.9%
営業利益	11,832百万円	13,037百万円	1,205百万円	10.2%
経常利益	11,422百万円	12,558百万円	1,135百万円	9.9%
四半期純利益	4,901百万円	7,809百万円	2,907百万円	59.3%

また、上記の営業成績を踏まえて、その成果を株主の皆様へ還元させていただきたくべく、1株当たり配当金を以下のとおり増配させていただきたいと存じます。

	前事業年度 (H24年2月期)	当事業年度 (H25年2月期)	
			前回公表（H24.4.9）
第2四半期末	8.0円	18.0円	12.0円
期末	12.0円	18.0円	12.0円
年間計	20.0円	36.0円	24.0円

営業成績の主な増減要因

①営業収益及び売上総利益

営業収益のうち、売上高は前年同期比9,274百万円（3.9%）増加し、247,992百万円となりました。この増加は、主に前年第3四半期に新設した「ゆめタウン徳島」によるものです。

営業収入は、テナント数増加に伴う共同管理費収入の増加等により、前年同期比607百万円（5.2%）増加し、12,351百万円となりました。

売上総利益は、53,165百万円（前年同期比896百万円の増加）となりました。売上高対比では

21.4%となり前第2四半期に比べて0.5ポイント低下しました。この低下は主に、相対的に売上総利益率が低いテナント部門において、前年第3四半期の「ゆめタウン徳島」の新設や既存店舗での堅調な販売実績によって、全社売上高に占める構成比が高まったことによるものです。

#### ②販売費及び一般管理費並びに営業利益

販売費及び一般管理費は、人的生産性の改善による人件費の抑制や広告宣伝費等諸経費の節減に努めたこと等により、52,479百万円と前年同期比297百万円の増加に留まりました。売上高対比で21.2%となり前第2四半期に比べて0.7ポイント低下いたしました。

これらの結果、営業利益は前年同期比1,205百万円（10.2%）増加の13,037百万円となりました。売上高対比は5.3%と前第2四半期に比べて0.3ポイント改善しています。

#### ③営業外損益及び経常利益

営業外収益は受取利息の減少等により前年同期比93百万円減少の589百万円となった一方、営業外費用は支払利息の減少等により前年同期比23百万円減少の1,068百万円となりました。

これらの結果、経常利益は前年同期比1,135百万円（9.9%）増加の12,558百万円となりました。売上高対比は5.1%と前第2四半期に比べて0.3ポイント改善しています。

#### ④特別損益、法人税等、少数株主利益及び四半期純利益

特別利益は子会社株式の追加取得による負ののれん発生益745百万円等を計上し826百万円となりました（前年同期比1,748百万円の減少）。なお、前第2四半期は自己株式消却に伴う有価証券売却益2,518百万円等を計上しています。一方、特別損失は固定資産除却損230百万円等を計上し573百万円となりました（前年同期比1,969百万円の減少）。なお、前第2四半期は資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額1,844百万円等を計上しています。

法人税等は、繰延税金資産の減少等により4,748百万円となりました（前年同期比1,010百万円の増加）。

少数株主利益は253百万円となりました（前年同期比2,560百万円の減少）。なお、前第2四半期は自己株式消却に伴い、有価証券売却益と同額の2,518百万円等を計上しています。

これらの結果、四半期純利益は前年同期比2,907百万円（59.3%）増加の7,809百万円となりました。売上高対比は3.1%と前第2四半期に比べて1.0ポイント改善しています。

#### ⑤その他

自己株式について、当第2四半期中に2,024千株取得した一方、前期末時点の保有分を含めて16,411千株を消却しました。これにより、発行済株式総数は78,861千株となりました。（前期末対比17.2%減少）

これらの効果も加わり、当第2四半期の1株当たり四半期純利益は97.81円（前年同期比45.85円増）となり、当第2四半期末の1株当たり純資産は1,466.50円（前期末対比78.05円増）となりました。

各セグメントの業績

■営業収益

	前第2四半期 (H23年3月～H23年8月)	当第2四半期 (H24年3月～H24年8月)	増減(金額)	増減 (率)
小売事業	247,606百万円	258,245百万円	10,638百万円	4.3%
小売周辺事業	16,159百万円	15,758百万円	△400百万円	△2.5%
その他	2,310百万円	2,317百万円	7百万円	0.3%
調整額	△15,614百万円	△15,977百万円	△363百万円	—
合計	250,462百万円	260,344百万円	9,882百万円	3.9%

■営業利益

	前第2四半期 (H23年3月～H23年8月)	当第2四半期 (H24年3月～H24年8月)	増減(金額)	増減 (率)
小売事業	9,806百万円	10,946百万円	1,140百万円	11.6%
小売周辺事業	1,572百万円	1,689百万円	117百万円	7.4%
その他	425百万円	396百万円	△28百万円	△6.8%
調整額	28百万円	5百万円	△23百万円	△81.8%
合計	11,832百万円	13,037百万円	1,205百万円	10.2%

①小売事業

当社グループの中核事業である小売事業では、引き続き「いいものを安く」をスローガンに掲げ、品揃えや価格設定を見直すとともに原価低減に努めました。特に、衣料品部門においては、従来より若い年齢層に向けて魅力ある商品を低価格で提供する取り組みを進めてまいりました。さらに直営各部門では、前期に引き続き新規事業の開発を進め、店舗の競争力の向上に努めました。また、テナント部門においては、テナント構成を積極的に見直し、競争力の高い有力テナントの導入により店舗全体の集客力の向上を図りました。

店舗面では、小商圏型店舗の今後のモデルとして、6月に「you meマート(ゆめマート)小倉東店」(福岡県北九州市、店舗面積 約2,700㎡)を新設しました。食品売場にドラッグを併設することで日常の利便性を高め集客力の向上を図るとともに、人員の多能化などを進めて店舗運営コストの低減を図りました。

また、同じく6月には、山口県小野田市にある商業施設“おのだサンパーク”の核テナントとして「ゆめタウン小野田」(店舗面積 約8,000㎡)を出店しました。これにより、山口県中西部における当社既存店舗網は一段と強固なものとなり、地域における存在感を高めていけるものと期待しています。

これらの取り組みに対して販売動向は、春先においては前第2四半期における震災特需の反動減を吸収し堅調に推移したものの、その後は天候不順による季節商材の販売苦戦や九州地方を中心とした集中豪雨被害等により伸び悩む状況が続きました(当社の既存店売上高は前年同期比0.4%減となりました。)。しかしながら、前年第3四半期にオープンした「ゆめタウン徳島」を含む新設店

舗の寄与により、売上高は増収を確保しました。

コスト面では、前期より店舗における後方在庫削減や作業方法の見直しにより生産性や商品鮮度・値下ロスを改善させてまいりましたが、その成果の定着と全店的な水平展開を図るとともに、一段の改善効果を目指した次段階の取り組みを試みました。さらに、販促コスト等諸経費につきましても、費用対効果を見定め、節減に努めました。

これらの結果、営業収益は258,245百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益は10,946百万円（前年同期比11.6%増）となりました。

## ②小売周辺事業

小売周辺事業では、一部の業務において他セグメントとのグループ間取引の条件を見直したことにより、営業収益は前年同期比2.5%減の15,758百万円となりました。

しかしながら、前年に引き続き取り組んできたショッピング時のクレジット利用推進や電子マネー「ゆめか」の利用拡大により、これらの取扱手数料収入は順調に増加しました。特に、電子マネー「ゆめか」は、取扱先の拡充や顧客利便性の向上により会員数が急速に増加しており、高い店頭利用率と相まって、当社グループ全体の集客力の向上やレジ効率の改善に貢献しています。

さらに、外注業務の内製化等諸コストの削減に努めたことや、キャッシング業務に係る費用負担の軽減により、営業利益は前年同期比7.4%増の1,689百万円となりました。

## ③その他

卸売業務では、衣料品需要の減退と海外からの仕入コストの上昇により、利益水準を低下させました。また、不動産賃貸業務では、安定した賃料収入を計上した一方で、既存設備の修繕費用を計上しました。

これらの結果、営業収益は2,317百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益は396百万円（前年同期比6.8%減）となりました。



(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末（以下、当第2四半期末）における資産、負債及び純資産の残高、及び前期末対比の増減額と主な増減理由は以下のとおりです。

	前期末 (H24年2月29日)	当第2四半期末 (H24年8月31日)	増減
総資産	370,377百万円	376,876百万円	6,499百万円
負債	244,987百万円	250,724百万円	5,736百万円
純資産	125,389百万円	126,152百万円	762百万円

総 資 産

- ・当第2四半期の設備投資額は13,432百万円であり、これは主に店舗新設予定土地及び本社移転予定土地の取得によるものです。その結果、有形固定資産は、減価償却実施後で6,369百万円増加しました。
- ・受取手形及び売掛金は、クレジット取扱高の増加により、1,518百万円増加しました。

負 債

- ・未払法人税等は、当第2四半期中の納付により、1,606百万円減少しました。
- ・有利子負債は、設備資金及び自己株式取得資金に充当するため、7,158百万円増加しました。
- ・流動負債その他は、前年第3四半期に新設した「ゆめタウン徳島」に係る設備未払金の資金決済等により、3,144百万円減少しました。

純 資 産

- ・利益剰余金は、内部留保額が上積みされた一方で、保有自己株式の消却原資に充当したため、13,571百万円減少しました。
- ・自己株式は、当第2四半期中に2,024千株取得した一方、前期末時点の保有分を含めて16,411千株を消却しました。その結果、自己株式の残高は前期末に比べて17,041百万円減少しました。
- ・少数株主持分は、子会社株式を追加取得したこと等により2,581百万円減少しました。
- ・これらの結果、自己資本比率は30.7%となり、前期末の30.3%に比べて0.4ポイント向上しました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

	前第2四半期 (H23年3月～H23年8月)	当第2四半期 (H24年3月～H24年8月)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,402百万円	15,384百万円	1,981百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,290百万円	△16,237百万円	△10,947百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,318百万円	924百万円	12,242百万円

#### 営業活動によるキャッシュ・フロー

- ・主な収入項目は、税金等調整前四半期純利益12,810百万円、減価償却費6,621百万円です。
- ・主な支出項目は、法人税等の支払額5,858百万円、売上債権の増加額1,518百万円です。
- ・前第2四半期と比較すると1,981百万円増加していますが、これは主に堅調な業績を受けて税金等調整前四半期純利益が増加したこと、及び仕入債務の増減額が前第2四半期に比べて増加したことによるものです。

#### 投資活動によるキャッシュ・フロー

- ・主な支出項目は、有形固定資産の取得による支出16,011百万円です。これは主に、前年新設店舗に係る設備未払金の決済や今後の店舗新設予定土地及び本社移転予定土地の取得によるものです。

#### 財務活動によるキャッシュ・フロー

- ・主な収入項目は、短期借入金の純増12,825百万円及び長期借入れによる収入7,500百万円です。これらの資金は、主に設備投資及び自己株式取得資金に充当しています。
- ・主な支出項目は、長期借入金の返済13,205百万円及び自己株式の取得3,368百万円です。

以上の結果、現金及び現金同等物の残高は、前期末対比69百万円増加し、6,330百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期（平成24年3月1日～平成25年2月28日）の連結及び個別の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成24年4月9日公表の予想数値を以下のとおり変更いたします。なお、下期の当社の既存店売上高前年比は100.0%（通年で99.8%）を見込んでいます。店舗面においては、10月に「エクセル ココエあまがさき店」（兵庫県尼崎市）を新設いたします。その他の店舗の新設・閉鎖の予定はありません。

連結

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	536,000	28,000	26,700	14,500	179.27円
今回修正 (B)	533,600	28,100	27,200	16,500	209.23円
増減額 (B-A)	△2,400	100	500	2,000	
増減率	△0.4%	0.4%	1.9%	13.8%	
前期実績	515,875	24,254	23,539	11,062	123.74円

単体

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	514,000	23,800	22,500	11,900	147.12円
今回修正 (B)	511,200	23,600	22,500	12,800	162.31円
増減額 (B-A)	△2,800	△200	—	900	
増減率	△0.5%	△0.8%	—%	7.6%	
前期実績	494,158	19,948	19,086	8,965	100.28円

(注) これらの予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(4) 配当予想に関する定性的情報

当社は、配当金につきまして企業体質の強化を図りつつ、安定的に配当を継続していくことを重視しております。また、内部留保金につきましては、有利子負債削減などの財務体質の強化を図りながら、成長分野への戦略投資に充当していきたいと存じます。

当事業年度につきましては、過去最高益を更新することが見込まれるため、その成果を株主の皆様へ還元させていただきたく、中間（第2四半期）配当金を1株につき18円（前第2四半期に比べ10円の増配）とさせていただき、期末配当金を1株につき18円（前期末に比べて6円の増配）とさせていただきたいと存じます。これにより年間配当金は1株につき36円になります（1株当たり配当金の明細は2ページ 1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 連結経営成績に関する定性的情報 をご参照下さい。）。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,260	6,330
受取手形及び売掛金	20,323	21,842
商品及び製品	20,677	20,493
仕掛品	17	23
原材料及び貯蔵品	267	288
その他	14,324	13,396
貸倒引当金	△830	△770
流動資産合計	61,040	61,605
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	139,428	135,806
土地	121,051	128,045
その他(純額)	8,410	11,410
有形固定資産合計	268,891	275,261
無形固定資産		
投資その他の資産	7,059	6,726
その他	34,172	34,057
貸倒引当金	△786	△773
投資その他の資産合計	33,385	33,283
固定資産合計	309,336	315,271
資産合計	370,377	376,876
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,715	24,682
短期借入金	32,025	44,850
1年内返済予定の長期借入金	23,969	19,951
未払法人税等	6,179	4,572
賞与引当金	1,482	1,896
役員賞与引当金	62	2
ポイント引当金	1,584	1,656
商品券回収損失引当金	53	52
その他	15,851	12,707
流動負債合計	102,924	110,371
固定負債		
長期借入金	101,605	99,918
退職給付引当金	6,070	6,201
役員退職慰労引当金	962	1,167
利息返還損失引当金	482	432
資産除去債務	6,796	7,039
その他	26,145	25,593
固定負債合計	142,063	140,353
負債合計	244,987	250,724

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,613	19,613
資本剰余金	22,282	22,282
利益剰余金	87,555	73,984
自己株式	△17,043	△2
株主資本合計	112,407	115,877
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	214	101
為替換算調整勘定	△319	△332
その他の包括利益累計額合計	△105	△231
少数株主持分	13,087	10,505
純資産合計	125,389	126,152
負債純資産合計	370,377	376,876

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
売上高	238,717	247,992
売上原価	186,447	194,826
売上総利益	52,269	53,165
営業収入	11,744	12,351
営業総利益	64,014	65,517
販売費及び一般管理費	52,182	52,479
営業利益	11,832	13,037
営業外収益		
受取利息	99	86
仕入割引	181	185
その他	401	316
営業外収益合計	682	589
営業外費用		
支払利息	976	948
その他	116	120
営業外費用合計	1,092	1,068
経常利益	11,422	12,558
特別利益		
固定資産売却益	11	32
有価証券売却益	2,518	—
負ののれん発生益	—	745
その他	44	48
特別利益合計	2,574	826
特別損失		
固定資産売却損	0	149
固定資産除却損	466	230
投資有価証券評価損	10	183
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,844	—
その他	221	9
特別損失合計	2,542	573
税金等調整前四半期純利益	11,453	12,810
法人税、住民税及び事業税	4,157	4,283
法人税等調整額	△419	465
法人税等合計	3,737	4,748
少数株主損益調整前四半期純利益	7,716	8,062
少数株主利益	2,814	253
四半期純利益	4,901	7,809

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,716	8,062
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△203	△68
為替換算調整勘定	△35	△13
その他の包括利益合計	△239	△81
四半期包括利益	7,476	7,980
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,675	7,683
少数株主に係る四半期包括利益	2,801	297



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	11,453	12,810
減価償却費	6,668	6,621
負ののれん発生益	—	△745
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,844	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△16	△73
受取利息及び受取配当金	△146	△124
支払利息	976	948
投資有価証券評価損益 (△は益)	10	183
有価証券売却損益 (△は益)	△2,518	—
持分法による投資損益 (△は益)	△16	△10
固定資産売却損益 (△は益)	△10	116
固定資産除却損	466	230
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,385	△1,518
たな卸資産の増減額 (△は増加)	755	156
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,436	2,966
その他	△1,239	499
小計	19,279	22,061
利息及び配当金の受取額	149	122
利息の支払額	△1,002	△941
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△5,023	△5,858
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,402	15,384
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△6,502	△16,011
有形固定資産の売却による収入	31	342
無形固定資産の取得による支出	△364	△178
投資有価証券の取得による支出	△2	△259
子会社株式の取得による支出	—	△413
短期貸付金の増減額 (△は増加)	1,185	81
その他	361	199
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,290	△16,237
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5,230	12,825
長期借入れによる収入	3,000	7,500
長期借入金の返済による支出	△10,913	△13,205
自己株式の取得による支出	△7,718	△3,368
子会社の自己株式の取得による支出	—	△1,701
配当金の支払額	△762	△970
少数株主への配当金の支払額	△20	△20
その他	△133	△134
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,318	924
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,208	69
現金及び現金同等物の期首残高	12,316	6,260
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,107	6,330

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

前第2四半期連結累計期間（自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日）

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表 計上額 (注3)
	小売事業	小売周辺 事業	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	242,230	6,728	248,959	1,502	250,462	—	250,462
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	5,376	9,430	14,806	807	15,614	△15,614	—
計	247,606	16,159	263,766	2,310	266,076	△15,614	250,462
セグメント利益	9,806	1,572	11,378	425	11,803	28	11,832

(注1) 「その他」の区分は、衣料品などの卸売事業等を含んでおります。

(注2) セグメント利益の調整額 28百万円は、セグメント間の未実現利益の調整額等を含んでおります。

(注3) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日）

1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表 計上額 (注3)
	小売事業	小売周辺 事業	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	250,202	8,620	258,823	1,521	260,344	—	260,344
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	8,042	7,138	15,180	796	15,977	△15,977	—
計	258,245	15,758	274,003	2,317	276,321	△15,977	260,344
セグメント利益	10,946	1,689	12,636	396	13,032	5	13,037

(注1) 「その他」の区分は、衣料品などの卸売事業等を含んでおります。

(注2) セグメント利益の調整額 5百万円は、セグメント間の未実現利益の調整額等を含んでおります。

(注3) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

子会社株式の追加取得により、負ののれん発生益745百万円を計上しましたが、特別利益に区分されるため、上表には含めておりません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、当第2四半期連結累計期間において、以下のとおり自己株式の取得および消却を実施しています。これらにより利益剰余金が20,410百万円、自己株式が17,041百万円減少いたしました。

・会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式取得	2,024千株
・会社法第178条の規定に基づく自己株式消却	16,411千株

(7) 重要な後発事象

自己株式の取得

当社は平成24年10月3日開催の取締役会において、以下のとおり、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議いたしました。

取得の理由	株主還元の充実および資本効率の向上を図るとともに、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を可能とするため。
取得対象株式の種類	普通株式
取得し得る株式の総数	400万株（上限） （発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 5.1%）
株式の取得価額の総額	8,000百万円（上限）
取得期間	平成24年10月4日から平成24年12月28日まで
取得方法	信託方式による市場買付